

2025 年 7 月 25 日

サンスター、ブレーキ性能を高めた 環境対応ブレーキディスクで鈴鹿 8 耐に今年も参戦 ～チームスズキCNチャレンジにブレーキディスク・パッドを提供～

サンスターグループ(以下サンスター)は、2025 年 8 月 1～3 日に開催される「2025 FIM*世界耐久選手権 “コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 46 回大会(鈴鹿 8 耐)」のエクスペリメンタルクラスに参戦する「チームスズキ CN チャレンジ(参戦車両:スズキ GSX-R1000R)」へ、昨年と同等の環境負荷低減率を保ちつつ、さらにブレーキの効きを高めた新仕様のブレーキディスクとブレーキパッドを提供予定です。



チームスズキ CN チャレンジ GSX-R 1000 R



サンスターの熱処理廃止鉄製ブレーキディスク、ロードストブレーキパッド

「チームスズキ CN チャレンジ」は、スズキ株式会社(以下スズキ)が「カーボンニュートラル(CN)など環境負荷低減への挑戦」をテーマに、鈴鹿 8 耐でのレース完走を目指して様々な課題を克服しながら、環境性能技術向上につなげていく取り組みです。バイオ由来原料を配合したサステナブル燃料をはじめ、環境性能技術により開発されたタイヤ、オイル、カウル、ブレーキなどの部品を投入した二輪車でレースに参戦します。

サンスターは、スズキからの呼びかけに賛同し、昨年よりパートナー企業の 1 社として、ディスク製造工程での熱処理を廃止するという革新的な技術の導入などにより環境性能と制動性能を両立させたブレーキディスクとブレーキパッドを提供しております。

今年は、ブレーキパッドの製造を委託している東海カーボン株式会社と企業の垣根を超え、両社の知見を活かした共同開発による改良を行いました。昨年の仕様では温度の低い領域ではブレーキの効きが弱いところに課題がありましたが、新仕様ではパッドの成分処方と製法の見直しにより、温度によって変化する摩擦係数の変化を小さくすることに成功しています。現在、この開発を通して得た知見を量産化につなげるための様々な検討を行っています。

サンスターは、グループ全体でカーボンニュートラル(CO₂ 排出実質ゼロ)、サーキュラーエコノミー(資源循環型経済)実現への貢献を目指した環境中長期目標を掲げ、製品開発や事業活動を含む全般で環境負荷低減への取り組みを進めています。

*FIM : 国際モーターサイクリズム連盟

【環境対応レース専用ブレーキディスク／ブレーキパッドについて】

＜環境対応レース専用ブレーキディスクの特長＞

- ・ブレーキディスクの熱処理工程を廃止することで製造時の CO₂ 排出量を約 50% 削減
- ・摺動部にはディンプル小孔(くぼみ形状)を採用して、パッドクリーニング効果とクラック耐久性の性能両立

＜環境対応レース専用ブレーキパッドの特長＞

- ・ディスクの熱処理工程廃止に伴い、専用ブレーキパッドを開発
- ・ブレーキの効きやコントロール性は従来性能同等を維持しながら、約 15% の摩耗量削減(低ダスト化)

◆サンスターのオートバイ用ブレーキディスクについて

サンスターは、1961 年にオートバイ向けディスク部品事業に参入、二輪メーカー各社に OEM 部品としてブレーキディスク、スプロケット(歯車部品)を納入しており、トップクラスのシェアを獲得しています。レース専用ブレーキディスクの開発、提供も行っており、世界最高峰の様々な二輪レースのトップチームに採用され、勝利に貢献しています。1993 年からは市販向けのカスタム部品も販売開始、国内外オートバイメーカー12 社の対応商品をラインナップしています。レース用ブレーキディスク「Type-OMEGA(タイプオメガ)」の設計思想を取り入れた「ワークスエキスパンド」シリーズが二輪レースマニアなどに人気です。

◇サンスターの二輪レースサポート <https://www.sunstar-engineering.com/ja/drive/racing>

◇サンスターの市販向けブレーキディスク <https://www.sunstar-kc.jp/product-information/discrotor/>

【サンスターグループについて】

サンスターグループは、持株会社サンスターSA(スイス・エトワ)を中心に、オーラルケア、健康食品、化粧品など消費者向けの製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・スイス SA(スイス)と、自動車や建築向けの接着剤・シーリング材、オートバイや自動車向け金属加工部品などの産業向け製品・サービスをグローバルに統括するサンスター・シンガポール Pte.Ltd.(シンガポール)を中核会社とする企業グループです。

◆サンスターの起源と事業の広がり

サンスターは、1932 年に自転車部品やパンク修理用のゴム糊の卸売業で創業。その後、ゴム糊の金属チューブ容器の製造設備を活用して、粉歯磨が主流だった時代に練歯磨剤を発売、オーラルケア、化粧品、健康食品などの消費財事業へと展開しました。一方、自転車用部品やゴム糊の事業は、より市場成長が見込めると考えたバイク用・自動車用金属部品や自動車・建築・電子機器用接着剤・シーリング材などの事業にシフトし生産財事業へと発展させています。

◆サンスターのサステナビリティ活動について <https://www.sunstar.com/jp/sustainability/>

＜この件に関するマスコミからのお問い合わせ先＞

サンスターグループ 広報部 MAIL: sunstarpr@jp.sunstar.com